

令和5年度

# 事業計画書

令和 5年 4月 1日から  
令和 6年 3月31日まで

公益社団法人 徳島県環境技術センター

# 令和5年度 事業計画書

(令和 5年4月1日～令和 6年3月31日まで)

## 〈事業計画〉

### 1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目的事業1）

#### (1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の検査に関する事業（公1検査）

- 1) 県民の生活環境及び公衆衛生の向上に寄与することを目的として、浄化槽法第7条及び第11条に基づき水質に関する検査を実施する。

542,089千円

令和5年度も引き続き設置者のニーズに応え、適正な維持管理を行う管理者に対し、「ブロワ交換費補助金交付制度」を普及させ、確実な保守点検、清掃、法定検査の実施を推進する。また、「適正な維持管理（浄化槽法の厳格化）を推進する」ために、「法定検査結果通知書」を広報媒体とし、「浄化槽法」の概要や内容を広告し、「法定検査受検率低下の抑制」を図る。

さらに、督促対象施設の中で、電話不明等の「連絡不通施設」に対しては、専任検査員が直接訪問による調査及び受検勧奨を行い、電話が繋がらない施設に対しては今まで連絡していなかった時間帯にもアプローチを行い、「連絡不通施設」の減少に努める。

これらの施策に基づき、令和5年度は、計画数を令和4年度計画対比1,000基増の96,000基とした。

#### 《検査予定数》

区 分	予 定 数	備 考
7条検査	2,300基	受検率100%
11条検査	93,700基	受検率62.3%
合 計	96,000基	

### 2) 浄化槽法定検査の受検指導に関する事業

- ①浄化槽設置者間の不公平を是正するため、未受検者に対し、粘り強く検査の必要性を説明する。具体的には、昨年に引き続き下記の方法で受検勧奨を行う。

- ・検査員及び電話受検勧奨担当職員による受検指導の徹底を図る。
- ・電話受検勧奨の手薄な時間帯や曜日を分析しアプローチを試みる。
- ・電話番号不明の未受検者施設には、専任検査員による直接訪問を実施し、不通施設の受検指導を強化する。
- ・管理者不明施設の再調査を行い、通知未達・連絡不通施設の減少に努める。
- ・会員企業の協力を得ながら、地区ごとに再度一斉検査を行い、訪問活動を中心とし

た面的な掘り起こし、督促検査を推進する。

- ・国庫補助を受給しながら未受検となっている設置者を対象に、県水・環境課と連携して、個別訪問指導等により受検指導の強化を図る。
  - ・検査員による電話番号不明等の不通施設への直接訪問を強化し、不通施設の減少に努める。
- ②県が推進する標準契約や一括契約協議会等により、適正な維持管理を担保しつつ、法定検査の受検が継続するシステムの普及を図る。  
協議会地域以外の既存浄化槽についても、維持管理一括契約を推進する。
  - ③特に受検率が低く、適正な維持管理がなされていない可能性が高い単独処理浄化槽設置者に対し、特別認定管理士制度を活用し、維持管理業者及び検査機関の両方からアプローチを行い、受検率の向上を図る。
  - ④法定検査結果の信頼性、公平性、透明性を確保するため、県と検査機関の実務者で構成する『法定検査検討会』に参加し、法定検査の判断基準、改善指導方法等について十分に検討を行う。年2回以上実施し、受検率向上策を含め法定検査のあり方について協議する。
  - ⑤検査員の専門知識の習得と技術力の向上を目的として、全国浄化槽技術研究集会、四国地区検査員研修会、その他各種講習会・研修会等に参加し、人材育成を図る。
  - ⑥那賀町・神山町の協議会において合併処理浄化槽の特別認定管理士制度の拡大を目指し、受検率向上を図る。
  - ⑦継続受検に効果が現れている「継続申込契約」の推進をさらに強化する。
  - ⑧適正な維持管理が行われている施設へのブロワ交換費補助制度を周知するほか、合併浄化槽への転換費補助、災害被災時の調査や復旧支援など、法定検査の受検につながる浄化槽設置者への支援制度を検討し、受検率の向上を図る。
  - ⑨標準契約の未収対策として、予納金で行われる7条検査と1回目の11条検査時には、口座振替の推進を積極的に行う。

### 3) 検査台帳の整備、データ管理事業（公1台帳整備）

- ①設置後のトラブルを未然に防止するため、設置に関する事前相談及び法令で定められた手続きに関する指導・助言を行う。
- ②浄化槽に関する適確な指導や検査台帳整備を行うため、専門調査員を配置し、適宜現地調査を実施することにより、下水道接続による廃止や持ち主変更などの浄化槽データ更新を常に行い、必要に応じた書類の提出を求めるとともに法定検査の実施に結びつける。収集した情報は適切に管理し、検査台帳の整備を推進する。
- ③令和5年度も引き続き、無届浄化槽で検査履歴が無い施設の浄化槽設置確認調査を行い、早期に無届浄化槽の全ての未受検者に対して行政指導通知が送付できる状態に台帳を整備する。  
なお、調査が完了し、廃止または休止等、施設を使用していないことが明らかな施設については、検査対象数から除外し、別途適切に管理する。
- ④専門調査員は、浄化槽台帳の整備を進めるため、現在台帳に登録されている情報

をもとに、所有者不明の浄化槽や連絡がつかない浄化槽の所有者を確認するため、既存資料との整合や現地を訪問し、設置状況の実態調査を行う。

- ⑤ 検査台帳の精度を維持するため精査担当を配置し、調査専門職員が現地調査を行った情報の精査と法務局調査、下水道台帳の突合作業を行う。
- ⑥ 新設浄化槽の標準契約について、使用開始報告書の提出がなく契約の開始に支障を来す場合があるため、維持管理者と連携して使用開始報告書提出の周知及び徹底を図る。
- ⑦ 違法（無届）浄化槽に対する届出指導及び受検指導を行う。
- ⑧ 新たに「DXの導入」を実施し、清掃・保守点検の正確な情報を速やかに収集することにより、検査員業務の効率化を図るとともに、検査台帳の更新を行い、浄化槽法の運用の厳格化など行政指導に結びつける
- ⑨ 浄化槽の適正施工を担保するため「浄化槽埋設工事時の写真を7条検査で確認する」方式導入に向け、「中間工事写真」収集システムを構築し、段階的導入を目指す。

#### 4) 不適正浄化槽の改善確認、水質改善の調査研究（公1改善指導）

- ① 不適正浄化槽について早期の機能回復を図るため、漏水や破損、勾配不良等、工事・構造上の不備が適正に改善されているか追跡調査を行うと共に、未改善施設については、翌年度の検査時に、改善方法に関する指導・助言等が的確に実施出来るよう、具体的な改善手法について検討する。
- ② 地域の水質保全を図るため、BOD超過等放流水質悪化施設については、機能評価検査を実施し水質悪化原因を究明、改善策を提示する。また必要に応じて、現場施設での水質改善実験等を行い、その原因を除去あるいは緩和する方策を調査・研究する。
- ③ 油脂類の混入が認められる飲食店等高負荷施設について、グリストラップの構造を含め、適切な維持管理手法について調査・研究する。

#### (2) 浄化槽の機能保証制度に関する事業（公1保証） 2,730千円

- 1) 浄化槽に対する県民の信頼、並びに安全安心を確保し、かつ原因者が修復できない又は原因者が特定出来ない場合に、早期に浄化槽の改善を確保、公共用水域の水質保全を図るため、機能保証登録証と制度説明パンフレットの送付により設置者に浄化槽機能保証制度の周知を図り、活用してもらうよう積極的にこの制度のPRを行う。  
令和5年度の浄化槽機能保証登録予定基数は1,050基とする。

#### (3) 浄化槽の適正施工・維持管理の啓発・相談等（公1啓発）9,630千円

- 1) 県からの委託により法定検査受検率向上事業を行う (8,180千円)
  - ① 浄化槽関係情報の集約のため各支所において浄化槽各種届出書の受付及び事前審査を行いデータ入力により浄化槽情報の電子化を行う。
  - ② 行政機関と協力し前年度未受検者に対し行政からの受検督促文書を送付する。
  - ③ 浄化槽に関する正しい知識の普及を図るため、新規設置者を対象とした浄化槽教室を開催する。なお、参加者には、点検記録保存用ファイルやリーフレット等を配布

し維持管理の重要性を周知する。

④不適正浄化槽に対する相談対応や現場指導、及び改善確認等を実施する。

2) 施工上の不備等を早い段階で発見し、早期改善を図ることにより、7条検査での不適正率(数)を減少させると共に、適正な施工を啓発・普及するため、市町村等の委託事業の事前確認検査、竣工審査等を実施する。(350千円)

3) 単独浄化槽から合併浄化槽への転換促進及び浄化槽の転換補助金制度の普及啓発を目的とし、転換補助金制度の周知用パンフレットの配布と設置者立会いの下での制度の説明を行う。(350千円)

4) 不良浄化槽の排除及び浄化槽の性能向上を目的として、(公財)日本環境整備教育センターの委託を受け、浄化槽が実際に使用されている状態で、所期の性能が発揮されているかを詳細に調査(実地調査)、7条検査結果の情報と併せてそのデータや得られた知見を浄化槽メーカーにフィードバックし、製品の改善と機能の向上を図る。(250千円)

5) 県の指定を受け、保守点検業登録更新時に必要とする登録管理士の研修会を開催する。なお、受講の申請や料金の手続き、講師等の準備については、一般社団法人全国浄化槽団体連合会が取り纏める方式を採用し開催することとする。(500千円)

#### (4) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催(公1講習会)

1) 保守点検記録票・清掃記録票が標準化されたが、未だ規定外の様式使用や記載内容に不備が認められることから、検査結果を改善指導に反映させ、様式標準化の徹底を図る。

2) 浄化槽の現状や事例の報告、情報提供等を目的に、市町村等行政担当者、一般住民等を対象とした浄化槽説明会等を開催する。

#### (5) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業(公1情報収集)

1) 浄化槽に関するデータや最新情報、法律改正など行政の動向など必要な情報を提供するため、毎月1回情報誌「みどり」を発行する。

2) 法定検査結果の分析や統計処理を行い、HPで公表すると共に、浄化槽に関する課題や問題点に対する改善策等を提案する。

3) ホームページを通じて広く一般県民に対し、法人の組織や活動状況のPRを行うと共に、浄化槽の大切な役割の周知や業界のイメージアップを図る。

#### (6) 地域の水環境保全のため、浄化槽の普及を図る事業(公1普及促進)

1) 未処理の雑排水による公共用水域の水質悪化を防止するため、県内市町村に対して、合併処理浄化槽の面的な整備が可能な市町村設置型浄化槽の制度導入を推進するため県下の市町村長に対するの要望活動を実施する。

2) 公共用水域の汚濁防止を目的として、汲み取りトイレ又は単独浄化槽を使用する一般住民に対して、新聞・HPへの掲載・パンフレットの配布等を通じて、合併処理浄化槽への転換を推進する。

3) 環境省が行う「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」を推進するため、該当する浄化槽管理者及び関係業者に対して補助金交付説明会の開催や受付審査を行う。

(900千円)

4) 県が行う「とくしま浄化槽連絡協議会」に参加し、浄化槽の普及や適正な維持管理の推進に積極的に取り組む。

5) 県民や行政担当者からの「疑問」や「相談」などの幅広い問い合わせに応えられるよう、「浄化槽なんでも相談窓口」を開設し、浄化槽の普及や適正な維持管理の推進に積極的に取り組む。

#### (7) その他地域の水環境保全、公衆衛生の意識高揚を図るための事業(公1水質保全)

1) 環境保全の意識高揚を図るため検査センター周辺の清掃・美化活動などのボランティア活動を実施する。

2) 浴場やプール等の水質検査の結果、公衆衛生上問題が生じる可能性があると考えられる場合等には、その再検査費用の一部を補助し、検査機会を増やすことによって公衆衛生の意識高揚を図る。

3) 環境教育の一環として、主に児童・生徒等を対象とした、環境学習・出前講座などの啓発事業を実施する。

4) 水環境に係る地域に密着した「みなみから届ける環づくり会議」への参加および各種ボランティア活動等に積極的に参加・協力する。

5) 水質だけではなく徳島県及び徳島県民の将来を考えたサービスやボランティア活動、広報活動等を行う。

### 2 計量証明事業(収益事業1)

34,000千円

#### (1) 計量証明事業及び建築物飲料水水質検査事業

1) 一般住民又は事業所、浄化槽保守点検業者等からの依頼により水中及び土壌中の物質の濃度を測定し、計量法第107条の規程による計量証明書を発行するなど計量証明事業を実施する。

2) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の2第4号の規程による飲料水の水質検査を実施する。

3) 上記2事業に関し、県及び市町の公共事業など新規顧客開拓に努めると共に、水質分析体制と計測・検査機器の整備拡充を図り、精度管理を徹底する。

### 3 受託講習会及び業務効率化支援並びに各種用紙・物品販売事業(収益事業2)

#### (1) 各種用紙販売事業

2,700千円

①浄化槽保守点検業者登録申請用書、浄化槽工事業登録(届出)申請書および浄化槽工事業登録(届出済)票、浄化槽設置届出書、維持管理標準契約書、保守点検記録票、清掃記録票等の各種用紙等を印刷・販売する。

②関係法令等の周知を図るため、浄化槽取扱要綱等関係法令集、汚水量算定要領等の

編集・発行（配布又は販売）を行う。

**(2) 物品販売事業 3, 600千円**

浄化槽の施工・保守点検・清掃の業務を行う上で、効率的且つ利便性の高い資材・物品等の企画・製造・販売を行う。

**(3) 底板販売事業 10, 000千円**

浄化槽メーカーと連携を図り、県が策定した「徳島県版浄化槽施工マニュアル」を遵守した適正な施工を推進するため、会員企業等に対して、浄化槽用PC底板を販売する。

**(4) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業 2, 050千円**

1) 浄化槽関係の資格者の高齢化が進んでいるため、徳島県に於いて若い世代の資格者を養成する。

①浄化槽設備士試験に合格するための受験対策講習会を開催する。

②（公財）日本環境整備教育センターが主催する浄化槽管理士及び技術管理者の資格取得講習会を事務局として徳島県で開催する。

③浄化槽特別認定管理士講習会を開催する。

④浄化槽特別認定設備士講習会を開催する。

⑤業務関連資格に合格するための支援として、受験対策講習会を開催する。

2) 有資格者（浄化槽管理士・設備士）や浄化槽関係従事者を対象に、技術の向上を目的として講習会や現地研修会を開催する。

3) 浄化槽業界の次世代の担い手育成のため、インターンシップ制度や職業体験を実施し、浄化槽業界の存在意義をPRする。また、合同就職説明会等の情報を会員に周知し、業界の若年労働者雇用促進を図る。

**(5) 汚水処理施設の管理及び技術指導に関する事業**

1) 下水道終末処理場、コミュニティプラント、あるいは、し尿処理施設等の汚水処理施設は、処理原理や構造・仕組みがほぼ浄化槽と同じであることから、下水処理場等公的施設で実際に運転管理を行っている研修機関等に於いて高度な汚水処理技術を習得し、その技術・知見・情報等、維持管理に係るノウハウを会員事業所に引き継ぐことを目的として、職員のレベルアップを図る。

**(6) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化等を支援する事業**

1) 浄化槽関係業者の業務の効率化や迅速性・正確性・継続性の向上、情報漏洩の防止等を目的として、会員企業等が持つ顧客のデータベース化を推進し、検査機関又は業者間での連絡・報告・照会等、相互の情報交換を電子化することを支援する。

2) 『特別認定設備士証』等、資格者証を発行し、資格者の地位向上と差別化を図る

3) 県が策定した徳島県浄化槽施工マニュアルに沿った適正な施工が遵守されるよう、

部会等を通じ、新たな施策を検討する。また、PC底板コンクリートによる底板工事を普及させることで、施工業者の負担軽減と、適正な施工の推進を両立する。

#### 4 管理部門

##### (1) 法人運営に関する事業 6,400千円

###### 1) 会員

運営に必要な財源を確保するため、次の事業を行い、組織の基盤強化を図る。

- ①会員の入会促進を図る。
- ②地域単位での会員活動の活性化を図る。
- ③会員からの意見を取りまとめ、行政等に対し要望を行う。
- ④全浄連ニュース等各種最新情報を提供する。
- ⑤浄化槽設備士会、浄化槽管理士会と連携し、無資格者による設置工事及び保守点検業務の排除を検討、資格者の地位向上を図る。

###### 2) 業務執行体制の整備と強化

- ①定期社員総会及び定期理事会（年12回）を開催する。また必要に応じ臨時社員総会及び臨時理事会を開催する。
- ②理事会に提出すべき議案、その他重要な職務執行に関する事項を協議・検討するため必要に応じて常任理事会を開催する。
- ③すべての会員が、意見交換や要望が出来るよう、所属する部会ごとに会合の場を設け、業界発展に向けて推進する。
- ④事業報告並びに決算に関して、監査を実施する。また必要に応じて中間監査等を実施する。

###### 3) 職員教育等

- ①上司が新人職員に対し、OJTを中心とした業務に即した具体的指導を確実、かつ効果的に実施する。
- ②警察や保険会社等から講師を招き、交通安全研修を実施する。
- ③職員に個人情報保護法および関係法令に関する研修を行い、コンプライアンス意識の徹底を図る
- ④エコアクション21のマネジメントシステムを遵守しながら、職員に対する廃棄物排出量や節電等、環境への取り組み意識の高揚を図る。
- ⑤職員の業務知識及び技術の向上のため、定期的な勉強会及び考査を実施する。

###### 4) 支所の業務の状況

設置届出関係書類の受付以外に底板その他物品販売業務等、支所の活用方法を検討する。令和5年度の勤務体制は別表1のとおりである。



5) その他

①被災時の復旧支援

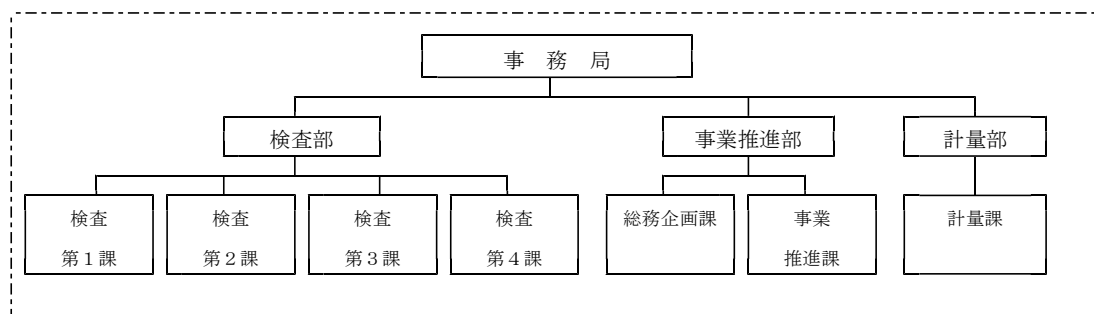
今後発生が予想される、南海・東南海地震等に備え、災害時における浄化槽の緊急点検・復旧等に係る体制を整備する。また、復旧支援協定に基づき、県の防災訓練（会員間の伝達訓練）に参加することにより、支援体制の整備・強化を図る。

②策定した法人のBCP（事業継続計画）を引き続き検討・更新するとともに、被災時の対応マニュアルを作成、避難訓練等も実施する。

6) その他当法人の目的を達成するための事業

前記事業の他、当法人の目的を達成するために必要な事業を実施する。

7) 事務事業の執行体制



【別表1】

支所の勤務体制

管轄	支所名	受付時間	担当	備考
東部保健福祉局	徳島	AM 8:30 ~ PM 5:30	3人	
	阿北	AM 8:30 ~ PM 4:00	1人	
南部	阿南	AM 8:30 ~ PM 5:30	1人	
西部	美馬	AM 8:30 ~ PM 5:30	1人	